

第18回 「URUZO！」WG 議事録

日時:2019年6月24日(月) 19:00~21:00 場所:ふれあい歯科ごとう

出席:五島先生、板垣先生、重野様、URUZO!:藤崎(日本介護食品協議会)、的場(ハウス食品)、木田(マルハニチロ)、三好(アサヒグループ食品)、鈴木(ヤヨイサンフーズ)、(敬称略)

■試食スクリーニングテスト（せんべいテスト）状況について

●前回からの課題

- ・テストのN数を増やす
- ・既往歴のある方や咀嚼レベルの低い方へのテスト実施。

●状況

- ・板垣先生より、施設にテストを依頼していただいたが医師や家族などの許可を得なければならず、容易に実施しづらい状況。
- ・咀嚼レベルが低く、介護度が高い方ほど、テストの許可を得ることが困難。
(安全性に対する懸念があるため。)
- ・テストをする場合は、施設より在宅の方がやりやすいため訪問で実施した方がよい。

→五島先生にもテストを実施していただく。

栄養士だけではなく、歯科衛生士にも協力をあおいでみる。(五島先生より)

→板垣先生にも引き続きお願いする。

※UDFサンプルと調査フォームを五島先生にお送りする。板垣先生にも追加のサンプルをお送りする。

■対象者に対するUDF商品への誘導方法について

→せんべいテストのN集めには時間を要するため、並行して審議できるテーマを検討することとした。

- ・市販でのUDF商品の売上は、DSで伸長、スーパーでも取扱いが増えてきている。
- ・薬局では栄養士の採用が少なくなっており、専門職によるUDF商品への誘導が難しくなる。ただし、売り場で案内や相談ができる人材(職種)は利用者にとって有用。どのような対策があるか?

↓

- ・「UDFコンシェルジュ」のような認定制度を作り、訪問栄養士など専門職への啓発を進めはどうか?
- ・以前、ドラッグストア協会が「スマイルケア食コンシェルジュ」という認定制度を検討し推進した経緯がある。協議会メンバーも、明治さんをリーダーに市販用企業各社がEラーニングのテキストを作成した。ただ、その後どこまで活用や進捗があるかについてはよくわかっていない。

→次回、この資料を確認して活用が可能か検討してみる。

→的場さんに資料を手配いただく。

■次回開催

2019年8月23日（金） 19時@ふれあい歯科ごとう

テーマ ・スクリーニングテスト状況確認

・スマイルケア食コンシェルジュ用テキスト草案の確認

議事録作成者 株式会社ヤヨイサンフーズ 鈴木智子

議事録確認者 URUZO！